

# 1

## マニュアルの特長と使い方

このマニュアルで対象としている中学生たちは、まさに子どもから大人への成長の時期を迎えており、思春期における心身の急速な変化、仲間との人間関係、将来の不安などの課題や葛藤を抱えながら成長していく時期にあります。このような思春期における中学生は、心のサインをさまざまな形の問題行動で表出することが多く、そのひとつが喫煙の問題であるといえます。

このマニュアルは、喫煙問題を切り口として、中学生が自己決定をしながら生きて行く力の育成につとめ、結果的に喫煙を中心とした問題行動から身を守ることができることを目的として作成しました。

以下、このマニュアルの特長を示します。

なお、ご使用になられましたら、御意見、御感想などをお寄せ頂ければ幸いです。

- 1 マニュアルは、中学生に対してたばこに関する指導の必要性が生じた時に、指導に必要な事項が掲載されている、いわば「ネタ帳」のような役割を果たしています。
- 2 防煙教材は、授業の目的や構成に応じて、自由度の高い授業が展開できるよう工夫されたものです。  
また、保健体育の授業や養護教諭の健康教育、生活指導など、授業を中心とする集団から生徒への個別対応まで適応できるように作成しています。
- 3 防煙教材の構成は、大きくわけて2つ（基礎知識編・実験編）になっており、具体性を確保するために実験など写真のスライドも取り入れています。
- 4 防煙教材の活用の例として、3パターンの指導案を掲載していますので、これらを参考に授業を実施することもできます。
- 5 単なる知識の提供に終わらず、「生きる力」を身につけることを大切に考え、ライフスキル教育の展開を提示しています。
- 6 防煙教材のスライドをCD-Rに焼き付けて編集し、授業用として活用できるよう添付しています。なお、スライドは画面ごとの説明を入れてありますので、生徒の状況に合わせて自由に構成を変更でき、新たなスライドを加えて授業を展開することもできるようになっています。